



『君の話』

三秋 繹／著
早川書房／刊
(2018年)

請求記号 YA ミア

3年前の夜、この本を読んで泣いたことを鮮明に覚えています。当時私はまだ小学生で、ずっと恋をしたかった。憧れていた。この本は、君の話。綺麗で儚い、恋の話。優しく温かい嘘の話。私はこの本を、あなたに読んでほしい。恋をよく知る、あなたに。恋を知らない、あなたに。

「この偽りを、真実に変えるのは君だ。」

(おじたもん)



『マッティは今日も憂鬱』 フィンランド人の不思議

カロリーナ・コルホネン／著
柳澤 はるか／訳
方丈社／刊
(2017年)

請求記号 YA 726/コ

シャイなフィンランド人、マッティの日常を、シュールで愛らしいイラストとともに描いた一冊。繊細だけど、遭遇するとちょっと気まずい！というシチュエーションがつめこまれていて、まるで自分のことを見ているように思える人も多いはず…!?

(はちゅ)

*選書アドバイザーとは？

仙台市広瀬図書館のYAコーナーの選書や、ブックリストの作成ボランティアの中高生たちのこと。2025年度も7月頃に募集予定。



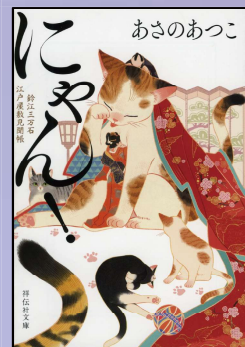
『プロの小説家が教える クリエイターのための 語彙力図鑑』

秀島 迅／著
日本文芸社／刊
(2023年)

請求記号 YA 901/ヒ

漫画家、小説家などクリエイターを目指す人は、ぜひ読んでみてください！感情や情景描写、身体的特徴……作品に使える言葉が、ぎっしりと詰まっており、物語に語彙を取り入れるコツなども書かれています。分かりやすいように、イラストもついていて、とても使いやすくオススメです！

(夏弥)



『にゃん！』 鈴江三万石江戸屋敷見聞帳

あさの あつこ／著
祥伝社／刊
(2021年)
祥伝社文庫

請求記号 一般 Bアサ

お糸が仕える鈴江三万石江戸屋敷正室の珠子は猫の化身だ。そんな彼女の人柄に魅了されたお糸は珠子のため日々奮闘する。しかし鈴江の地を狙う魔の手はすぐそこに――

『バッテリー』のあさのあつこが描く、個性豊かなキャラクターがくり広げる“ちょいと不思議な”物語！

(トマト)

*YAとは？

YAは「ヤングアダルト」の頭文字。児童書から一般書へと読む本が変わっていく13歳から18歳くらいの世代のこと。仙台市の各図書館にはYA向けの本を集めたYAコーナーがあります。



選書アドバイザー 撰

YA向けブックリスト 2025 リーフレット版
仙台市広瀬図書館



『きよしこ』

重松 清／著
新潮社／刊
(2005年)
新潮文庫

請求記号 YA Bシケ

少年きよしは、吃音症に悩んでいた。自己紹介で「き」がうまく言えず、クラスで孤立してしまう日々。そんな彼の前に現れたのは、“きよしこ”という不思議な少年だった。「伝わるよ、きっと」――きよしこの言葉を胸に、きよしは出会いや別れ、友情、そして恋愛を経験しながら成長していく。伝えたくても伝えられない、それでも伝えようと懸命に生きる少年のお話です。

(天野くん)

*冊子版『百冊夜行』もあります！

選書アドバイザーによるYA向けブックリスト。冊子版『百冊夜行』にはおすすめ本紹介、購入書籍案内、活動の様子など、もりだくさん。仙台市の各図書館で配布中。あわせてどうぞ。

